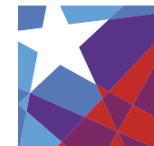


APEC



Asia-Pacific
Economic Cooperation



APEC
CHILE 2019

女性と経済フォーラム2019

1



2019年12月
内閣府男女共同参画局

APECとは

2

➤ APEC (Asia-Pacific Economic Cooperation) (アジア太平洋経済協力)はアジア太平洋地域の21の国と地域が参加する経済協力の枠組み。

※参加エコノミー: オーストラリア、ブルネイ、カナダ、チリ、中国、中国香港、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、パプアニューギニア、ペルー、フィリピン、ロシア、シンガポール、チャイニーズ・タイペイ、タイ、アメリカ、ベトナム

※世界全体のGDPの約6割、世界全体の貿易量の約5割及び世界人口の約4割を占め、アジア太平洋地域の持続可能な成長と繁栄に向けて、貿易・投資の自由化、ビジネスの円滑化、経済・技術協力等の活動を行っている。

APEC女性と経済フォーラムとは

3

- ▶ APEC女性と経済フォーラム(WEF)は、APEC地域の経済発展のためには、女性の新たな経済機会の創出が不可欠であるとの認識の下、女性と経済に関する閣僚と民間参加者が一堂に会する会合。
- ▶ 1996年に女性リーダーズネットワーク(WLN)会合が開催されて以降、毎年開催されている。2011年の米国開催から「APEC女性と経済フォーラム」と名称を変えて開催。
- ▶ 本年は9月30日(月)から10月5日(土)まで、チリ・ラ・セレナで開催。
※次年の会合はマレーシアで開催予定。

APEC女性と経済フォーラム2019

4

<プログラム>

- 9月30日(月) } 女性と経済に関する政策パートナーシップ会合
- 10月 1日(火) } (PPWE2)
- 10月 2日(水) } サイドイベント(女性起業家表彰イベント等)
- 10月 3日(木) } 女性と経済に関する官民対話(PPDWE)
NZ女性省次官との会談
- 10月 4日(金) } 女性と経済に関するハイレベル政策対話(HLPDWE)

<日本からの参加者>

- 別府 充彦 内閣府審議官
- 林 文子 横浜市長



別府 充彦 内閣府審議官



林 文子 横浜市長

会合のテーマ

5

- ▶ 本年のAPECでは、「女性、中小企業及び包摂的成長」が優先課題の一つとされ、WEFは「経済への女性の包摂の推進」をテーマとして開催。
- ▶ 全ハイレベル会合では、議長であるチリのイニシアチブにより、2030年までに達成する努力が求められる目標を定めた「女性と包摂的成長のためのラ・セレナ・ロードマップ」が取りまとめられた。これは、APEC初の女性と経済的なエンパワーメントに係るロードマップ。

女性と経済に関する政策パートナーシップ (9/30・10/1)

PPWE2: Policy Partnership on Women and the Economy

6

個別行動計画に関する各エコノミーの取組の発表、PPWE戦略計画及び女性と経済フォーラム声明案の議論などが行われた。

- PPWE2においては、我が国より「2020年までに管理職に占める女性の割合を高めるための個別行動計画（IAP）」及び我が国の拠出金を活用したプロジェクト「女性と経済に関する取組支援」の進捗報告を行うとともに、今後の計画について発表。
- 全体では、APEC「女性と経済ダッシュボード2019」、「女性と経済フォーラム声明」及び「女性と包摂的成長のためのラ・セレナ・ロードマップ」の最終案について活発な議論が行われた。
- また、2020年PPWE行動計画の柱の一つとして、ロードマップの推進を重点取組事項とする予定である旨、チリより報告。



女性と経済に関するハイレベル政策対話(10/4)①

HLPDWE: High Level Policy Dialogue on Women and the Economy

7

最終日には、閣僚級による政策対話が行われ、別府内閣府審議官よりスピーチを行った。

セッション1：女性が経済に参画するに当たって直面している幅広い障壁

- 「女性活躍が持続的な経済成長に不可欠」との認識の下、2013年から (1) 女性の登用の促進、 (2) 保育所などの整備、 (3) 男性の意識改革、 (4) 働き方改革の4つの主な取組を官民を挙げて加速してきたことを紹介。
- また、取組の成果としてこの6年間で女性の就業者数は、およそ300万人増加したこと及びこの7年間で上場企業役員に占める女性の割合は3.4倍に増加したことを発言。



会議の様子

女性と経済に関するハイレベル政策対話(10/4)②

HLPDWE: High Level Policy Dialogue on Women and the Economy

8

セッション2：変わりゆく経済シナリオが女性の経済における統合に及ぼす影響

- 第4次産業革命やデジタル化は、女性活躍を促進する力になる一方、AIは過去のデータから機械的に学習するために、過去の格差が再生産されることへの懸念もあると発言。日本では、本年、「人間中心のAI社会原則」を取りまとめ、AIの活用にあたり、すべての人が公平に扱われることを紹介。
- また、日本は、STEM分野の女性が少ないことが課題であるため、「理工系チャレンジ」や「STEMガールズアンバサダー」等の取組により、女子学生の理工系分野への選択促進や働き続けやすい環境の整備を行っており、取組を強化していくと発言。



別府内閣府審議官によるスピーチ

WEF声明の概要①

9

会合の最後に、フォーラムの成果である「声明:」が採択された。

声明のポイント

- ①女性の経済参画が、「女性、中小企業、包摂的成長」として、APECの歴史で初めて議長エコノミーの優先課題に取り上げられたことを歓迎。
- ②女性が、資本にアクセスし労働市場に参加しようとする際に直面する文化的、社会的及び構造的障壁に対処するため、公共政策の策定を推奨。また、性別による職業の分離、差別、ケア責任の不平等な負担が、女性に悪影響を及ぼすため、対応のために公的及び民間部門が努力することを奨励。さらに、ジェンダーによる賃金格差を対象とし、女性の採用、昇進等を強化するなど、より包摂的な労働市場をつくるための政策の採用を奨励。

WEF声明の概要②

10

③女性が、デジタル経済や第4次産業革命において競争力を発揮するには、質の高い教育へのアクセス、技能開発、能力形成、技術リテラシーが不可欠。

④データが女性の経済参画を前進させるための基盤であることから、性別で細分化されたデータの収集、分析、公表、活用のための更なる努力を推奨するとともに、機会の平等と女性の経済的なエンパワーメントを効果的に推進する政策立案に情報提供することを要請。

⑤「APEC女性と経済ダッシュボード2019報告書」及び「女性と包摂的成長のためのラ・セレナ・ロードマップ」を歓迎。



共同記者会見の様子

ラ・セレナ・ロードマップの概要①

11

11月開催予定のAPEC首脳会議において首脳宣言の付属文書となる見込みであったが、チリ側の事情により首脳会議がとりやめに。12月の実務者会合で閣僚級の文書として決定。

ロードマップ概要

(1) 参加国・地域の行動を促進する5つの領域

A. 資本と市場を通じた女性活躍の支援

女性経営者や起業家への支援、女性のビジネス能力の向上 等

B. 女性の労働参加の強化

女性人材の募集・採用・定着・昇進の推進

女性の継続就労や昇進のための柔軟な労働条件・機会・選択肢の整備等

C. すべての意思決定過程における指導的地位への女性の登用促進

D. 女性の教育、訓練、技能開発への支援

E. データの収集・分析

ラ・セレナ・ロードマップの概要②

12

(2) 参加国・地域全体として2030年までに目指して努力する目標

- ①雇用に関する性別に基づく差別を禁止する法律・政策・規制の整備
- ②資金調達や融資に関する性別に基づく差別を禁止する法律・政策・規制の整備
- ③科学・技術・工学・数学(STEM)分野の高等教育卒業生及び研究開発職における男女バランスの改善
- ④指導的地位にある人の男女バランスの改善